

SIRA NEWS

仙台国際センターだより

最終号



多文化防災フォーラムを開催しました！

公益財団法人 仙台国際交流協会

Sendai International Relations Association (SIRA/さいら)

＊ ＊ 4 ・ 5 月の仙台国際センター休館日 ＊ ＊

4月6日（月）、30日（木）、5月1日（金）2日（土）



Information from SIRA

公益財団法人仙台観光国際協会 (SenTIA: センティア) 発足のお知らせ

平成27年4月1日に公益財団法人仙台国際交流協会（SIRA）は、公益財団法人仙台観光コンベンション協会と統合し、公益財団法人仙台観光国際協会となります。SIRAの事業は、新法人の国際化事業部が担当し、国際センター交流コーナーの運営も引き続き行います。

新法人名：公益財団法人仙台観光国際協会

英語名称：Sendai Tourism, Convention and International Association

略 称：SenTIA/センティア

所 在 地：〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10
仙台青葉ウィングビルA棟11階

電話/FAX：（代表）022-268-6251

（国際化事業部）022-268-6260

（FAX）022-268-6252

※国際センター交流コーナーの電話番号等は、統合後も変わりません。

（電話）022-265-2471 （FAX）022-265-2472

ダラス市青少年訪問団派遣 参加者募集

国際友好都市ダラス市に青少年訪問団を派遣し、震災の被災地支援への感謝や復興の現状を伝え、交流を深めます。この事業はダラス・フォートワース日米協会の協力により実施します。

期間：平成27年8月3日（月）～11日（火）7泊8日

訪問地：アメリカ合衆国ダラス市

対象：市内に居住または通学している平成27年4月現在、高校生の方で、事前・事後研修（全4回程度）に参加できる方6名程度

費用：約5万円

仙台国際センター交流コーナー、高校などで配布する募集要項（ホームページ<http://www.sira.or.jp/>からも取り出せます）で4月30日（必着）

問合／申込先：仙台観光国際協会（022-268-6251）

EVENT INFORMATION

仙台市内で行われる国際イベントのご紹介です。

4月
12
(日)

オリエント・アラブ民族打楽器ダルブカ講座

指先で奏でる高音と体に共鳴する低音を1つの打面で叩き分ける魅惑の太鼓。リズムの共有もあります。

日時：4月12日(日)

【基礎クラス】13:10~13:55

【応用クラス】14:05~14:50

【リズムクラス】15:00~15:45

場所：エル・パーク仙台 5階 音楽スタジオ1

参加費：1クラス 1,000円/2クラス 1,500円/3クラス 2,000円

対象：どなたでも。全く楽器の経験が無くても可。(楽器は主催者で準備します。要予約。)

主催：フィンガードラムリズム研究所

問合：080-6053-4141 (佐伯)

19
(日)

「小さい逃亡者」上映会

仙台でもロケが行われた、初の日ソ合作映画。解説・資料有。

日時：4月19日(日) 14:30~16:30

場所：仙台国際センター交流コーナー研修室

参加費：500円(資料代他/日本ユラシア協会宮城県連合会会員無料)

対象：どなたでも

主催/問合：日本ユラシア協会宮城県連合会

TEL: 022-263-4360 Email: cheb@live.jp

26
(日)

留学生のためのリサイクル自転車販売会

留学生を支援するため、整備されたリサイクル自転車25台を1台4,000円程度で販売します。(防犯登録とTSマーク保障(賠償責任保険5,000万円付)を含んでいます。)ワンポイント交通安全教室も行います。

日時：4月26日(日) 10:30~12:00

場所：仙台国際センター 交流コーナー

対象：留学生(学生証を持ってきました)

主催：(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部

問合：TEL: 022-268-6260

5月
23
(土)

日本台湾学会シンポジウム

『東日本大震災と台日交流—台南市と仙台市の青少年交流事業を例として—』

東日本大震災後に台湾・台南市からの支援で実施した台南市青少年訪問団。参加した学生や関係者の報告を聞き、これからの台日交流について考えます。

日時：5月23日(土) 15:20~17:50

場所：東北大学川内北キャンパス
講義棟C棟200教室

対象：どなたでも 参加費：無料

主催：日本台湾学会

協力：(公財)仙台観光国際協会

問合/申込：(公財)仙台観光国際協会

TEL: 022-268-6260

FAX: 022-268-6252

Email: plan2@sira.or.jp

※上記までお名前とご連絡先をお知らせください。

23
(土)

2015年仙台モンゴル相撲大会

仙台モンゴル相撲大会は今年で10周年になります。東京、新潟など日本全国からモンゴル相撲が好きな人たちが集まり、仙台的皆さんと一緒にモンゴル風に過ごすイベントです。

日時：5月23日(土) 11:00~16:00

場所：榴岡公園

参加費：無料

対象：どなたでも

主催/問合：チゴラガン協会

Email: chigulagan2011@hotmail.com

※18:00~22:00に東北大学国際交流会館三条で懇親会があります(参加費無料)

24
(日)

第30回東北大学国際祭り

東北最大級の国際交流イベント!各国のおいしい料理とユニークなパフォーマンスをはじめ、異文化を気軽に楽しめる企画がもりだくさんです。

日時：5月24日(日) 11:00~16:30

場所：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

参加費/入場料：無料

対象：どなたでも

主催：東北大学留学生協会(TUFSA)

問合：tufsacontact@gmail.com

(代表：シン アンガッディーブ)

申込方法：フードチケットは<http://www.tufsa.net/matsuri/index.php>より予約可。当日券もあり。

今月のピックアップ

多謝台湾♡

台南市青少年訪問団派遣事業 報告



台南市青少年訪問団は、東日本大震災を契機に、台南市に拠点を置く奇美グループの支援により始まった事業です。2月に第8回訪問団（大学生31名）、3月に第9回訪問団（高校生27名及び大学生サポーター2名）が、それぞれ7泊8日の日程で台南市を訪問しました。

この事業では3年間で延べ268名の青少年が台湾に渡り、震災支援に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、交流を深めてきました。滞在中は、自分達の特技やアイデアを活かして日本文化を紹介したり、現地の青少年や先住民の子ども達と交流しました。台南の受入側も毎回工夫を凝らして、プログラムを準備してくれました。特に、訪問団と寝食を共にした台湾人学生サポーター達とは、帰国後も活発な交流が続いているようです。事業に関わった多くの人達が仙台と台南、日本と台湾の交流のかけ橋になってくれることを期待しています。



5月には3年間の事業を振り返るシンポジウムを予定していますので、ぜひご参加ください。（詳しくはイベント情報をご覧ください。）

事業報告

多文化防災フォーラム 開催



3月15日（日）、「多文化防災フォーラム～外国人市民と一緒に地域防災を考えよう～」が開催されました。

「多文化防災フォーラム」は3月14日（土）から18日（水）まで仙台市で開催された国連防災世界会議のパブリック・フォーラムとしてSIRAと仙台市が共催し、70名以上の方に参加いただきました。その中には沖縄県、愛知県や埼玉県など県外からの参加もあり、関心の高さがうかがえました。

このフォーラムでは、東日本大震災の経験をふまえて作成した「多文化防災ワークショップ」を初公開し、参加者に体験していただきました。ワークショップでは災害時に避難所で起こりうる日本人避難者と外国人避難者の間に起こりうる行き違いや摩擦についてロールプレイを通じて参加者が体験し、その後に話し合いをしました。参加者には日本語学習ボランティア、町内会、留学生、大学、行政などさまざまな立場の方がいらっしやり、感想や意見を活発に交わし、有意義なワークショップとなりました。

アンケートでは「ワークショップでは多くの視点からの意見、考えがとても参考になりました」、「ワークショップをぜひ使ってみたいと思いました」、「外国人との防災訓練を通じて多文化共生の道があると思いました」といった感想や、ワークショップの改善点について提案をいただきました。

多文化防災ワークショップは後日、ウェブサイトで公開の予定です。ぜひ、みなさまの地域でもご活用ください。

作成した教材→



市民のCHIKARA



地域でがんばる団体と市民をつなぐ“団体活動紹介コーナー”です。今回ご紹介する団体は「チゴラガン」です。代表のオリギルさんにお話を伺いました。



チゴラガン

Q：いつ、どのような目的で設立された団体ですか？

A：2011年11月に、仙台に住んでいる内モンゴルから来た留学生たちが集まって、国際交流を通してモンゴル文化を紹介し、留学生生活を充実させることを目的に設立されました。

Q：団体名の由来はなんですか？

A：「皆で力を合わせれば何でもできる」ということで、モンゴル語で「集まる」という意味のチゴラガンとしました。

Q：具体的な活動内容を教えてください

A：5月に仙台モンゴル相撲大会、12月に仙台モンゴル人新年会を計画し、実施します。また、せんだい地球フェスタや東北大学国際祭りなど市民団体による国際交流イベントにも毎年参加しています。



Q：今後の活動について

A：5月23日に仙台市榴岡公園で2015年仙台モンゴル相撲大会を開催します。今年で通算10回目の開催となります。（詳しくはイベント情報をご覧ください）

Q：読者の方々へメッセージをお願いします！

A：皆で力を合わせて国際交流を推進しましょう。私達の活動にみなさんもぜひ参加してください。内モンゴルの文化に興味のある方は

chigulagan2011@hotmail.comまでご連絡ください。



WE



SENDAI

このコーナーでは、仙台で国際活動をする市民が活動紹介や仙台の魅力を伝えます。

今回は、交流コーナー利用者のシーダさん！東北大学で生命科学を勉強しているスーダン出身の留学生です。



皆さんこんにちは！シーダです。東北大学で生命科学を勉強するためにスーダンから来日しました。日本に着いたのはたった6日前のような気がしますが、あっという間に6年が経っていました。

定禅寺通や青葉通のけやき並木に象徴される、この穏やかで美しい「杜の都」に住むことができて嬉しく思っています。

そして、仙台に住む人々とその優しさ感謝しています。これまで友達の家へ招待され、おいしいご飯をご馳走になったことが何度もありました。天ぷら、寿司、蕎麦…私は日本食が大好きですが、中でも海苔は格別です。仙台に住み始めた当初、おにぎりを食べる際にはいつも海苔をはがしていました。ある時友達に「食べてみたら？」と勧められて、試しに海苔を食べてみたところ、すっかり海苔のファンになってしまいました。今では海苔のためにおにぎりを買うほどの海苔中毒です。

週末や休暇の間は、秋保大滝や白石など仙台周辺にある自然にあふれた美しい場所をよく訪ねました。特に、春に咲く桜は言葉では言い表せないほどきれいです。私の国、スーダンでは季節は2つしかありません。とても暑い夏と、とても寒い冬だけです。春の桜、秋の紅葉、冬の雪…これらの景色には感銘を受けました。

悲しいですが、私の旅もそろそろ終わりです。東北大学で博士課程を修了したので、スーダンに帰る準備を進めています。仙台に春が訪れる頃、私は首都のハルツームで天然のサウナを楽しんでいることでしょうか。仙台で暮らしたこの6年間、家族に囲まれて家で過ごしているような居心地の良い毎日でした。友達のおかげで素敵な思い出をたくさんつくることができました。この広くて狭い世界のどこかで、いつかまたあなたに会える日がきますように！

